埼玉空衛協ニュース

風と水と

平成29年

新春号

No.65

名栗川渓谷に咲く可憐な梅の花

一般社団法人　埼玉県空調衛生設備協会

年頭のご挨拶

人づくり事業を積極的に

一般社団法人埼玉県空調衛生設備協会　会長　大原　萬彌

明けましておめでとうございます。皆さまご家族おそろいで、心穏やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年を振り返って見ますと熊本地震や台風10号など相変わらず日本列島各地が災害に見舞われ、改めて自然災害の怖さを痛感させられました。また、1月にはここ30年で最多の死者が出た軽井沢スキーバス転落事故が起き、高齢者の運転による事故も頻繁にニュースになるなど、悲惨な交通事故も大きく取り上げられた一年でもありました。

このように、私たちは、いつ、どこで、どのような災害に巻き込まれるか分かりません。できる限り、自分の命は自分で守る備えだけは怠らないことが肝心だと思います。

ところで、東日本大震災から早5年が過ぎ去りましたが、災害を忘れない忘れさせないを当協会会員および埼玉県の12県土整備事務所等に配備しました。倒壊した建物から人命を救助するための油圧ジャッキやバールが収まったキャスター付きの工具セットです。いざという時に地域社会で役立ててほしい、さらには、会員会社や県の地域機関の玄関先に常備することで、地域の人たちの防災意識の高揚や備えを促すことにもつながるという思いから、配備したものです。

さて、この業界全体に目を向けて見ますと建設労働者の高齢化が急速に進展する中で、担い手となる若手の入職者の減少により、技術者・技能労働者の不足という深刻な事態に直面しています。こうした建設産業の担い手不足の現状に鑑み、当協会を含む建設産業団体、教育機関、行政機関等が連携して、技能者および技能労働者を確保・育成することを目的に、昨年3月には『埼玉県建設産業担い手確保・育成ネットワーク』が設立され、建設業への若者の入職や定着を促進するため、私を含め各構成団体のトップからさまざまな意見や提案が出されました。今後は、ネットワークの成果として〝建設業界の就労環境改善に関する決議〟も予定されています。

当協会では、こうした建設産業界の現状を踏まえ、人づくり事業を多岐にわたり積極的に展開しています。これまでの工業高等学校への技術指導、各種資格取得支援事業における講習会の実施、会員企業の新人、若手のための研修や中堅職員のフォローアップ研修など、研修・講習の充実を図っています。

そして今後は、ものつくり大学や県内15の工業系高等学校とも連携し、会員企業へのインターンシップ受け入れ、要請等を働きかけさせていただきたいと考えております。

どれもこれも会員の皆さま、関係機関・団体の皆さま方のご協力なしに、事業展開できるものではございません。この一年も皆さまの絶大なるご協力をお願い申し上げます。

最後に皆さまのご健勝ご多幸をお祈り申し上げ、私の新年のあいさつとさせていただきます。

「新しい時代の幕開け」

埼玉県知事　上田　清司

明けましておめでとうございます。一般社団法人埼玉県空調衛生設備協会の皆さまには健やかに平成29年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年のリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでは、本県ゆかりの選手が大活躍でした。選手の皆さんの全力を尽くす姿に、大きな感動と勇気をいただきました。

2019年にはラグビーのワールドカップ大会が、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、本県もビッグイベントの舞台となります。両大会がすばらしい大会になるように、しっかりと準備を整えてまいります。

さて、埼玉県の勢いには、特にここ10年、目を見張るものがあります。

事実、企業本社の転入超過数は2015年までの10年間で927社と全国1位、2003年から2013年までの県内総生産の増加額、全国シェアの増加ポイントともに愛知県に次いで全国2位となっています。

このように、埼玉県は著しい成長を遂げておりますが、今後は今まで経験したことのない局面を迎えます。

団塊の世代が75歳以上となる2025年にかけては、急激に高齢化が進むとともに、生産年齢人口の減少による社会の活力の低下が懸念されています。

誰もが将来に希望を持ち、生き生きと活躍できる社会を築くため、さらに知恵を絞り工夫をしなくてはなりません。

埼玉県は、本質を突いた施策の展開で国を動かしてきました。

埼玉県が始めた生活保護世帯の子供の学習支援は国を動かし、また糖尿病重症化予防対策も国から「埼玉県方式」として注目されています。国全体では難しいことでも、地方があえて踏み込み、国全体の成果につなげることができるのです。

工夫できることは、まだまだあります。

生産年齢人口が減少する中では、社会の担い手としてシニアや女性の社会参画が大変重要です。

元気な高齢者が自身の希望に合わせて仕事やボランティアに参加し、社会の担い手として活躍することを目指す「シニア革命」も本格化しています。また、シニア革命を支える「健康長寿埼玉プロジェクト」も全県で展開しているところです。

女性の社会参画を進める「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」は、全国に知られてきました。

さらに、マグネシウム蓄電池などその成果が出つつある「先端産業創造プロジェクト」も力強く進めていきます。ナノカーボン、医療イノベーションなどの重点5分野は、医療・介護や日本の産業の課題解決に高いポテンシャルを秘めています。地域金融機関などさまざまな機関との連携を深化させ、実用化、製品化開発を促進していきます。

また、日本の将来に関わる重大な問題である少子化対策にも力を入れて取り組みたいと思っています。

日本は今、さまざまな課題を抱えています。私は、今後も時代の本質を考え、その解決に向け全国をリードしていきたいと考えています。

今年も県政へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

エスロン管工機材中心に
製造工程や実験など
千葉積水工業の工場視察

当協会は昨年9月2日、公益的事業を実施する一般社団法人として、一般参加者を募った『空調衛生関連企業を視察する研修会』を昨年に引き続き開催した。今回の視察は、積水化学工業㈱環境・ライフカンパニー東日本支店建築営業部関東設備システム営業所の協力を得て、エスロン管工機材を製造している千葉積水工業㈱（千葉県市原市潤井戸）を訪問した。

参加者は、正会員と賛助会員合わせて30人。この中には正会員企業の海外研修生4人（ベトナムとフィリピンから2人ずつ）が含まれていた。

当日、JRさいたま新都心駅前に集合した参加者は、さいたまスーパーアリーナ前で中型バスに乗車し、午前8時30分に出発、首都高さいたま新都心線から湾岸道路、東関東自動車道などを経由し、約2時間で千葉積水工業に到着した。

ソリューションセンターで記念撮影

同社は、1957年の設立で、1970年に工場を創設し、現在、硬質塩化ビニルパイプ、SPR工法用プロファイル、ACドレンパイプ、プラント用バルブなどを製造している。

工場見学に際しては、事務所棟の会議室で、積水化学工業・建設設備グループ長の平尾祐二郎氏が、ACドレンパイプの長寿命、簡易施工性など優れた特長を説明し、埼玉県内公共事業での採用状況などを報告してから「今後も皆さまのお役に立てれば幸いです」とあいさつした。続いて、千葉積水工業の松下嘉暢社長兼工場長が工場の概要を説明した。

この後、参加者は2班に分かれ、ACドレンパイプの製造工程、災害用トイレ、塩ビ管の燃焼実験などを見学。昼食後は、管工機材製品が展示され、各種実験装置を備えたソリューションセンターにおいて、工場の担当者から排水管システム、建築設備改修コーナー、ベーシックコーナー、べからずコーナーなどで詳しい説明を受けるとともに、管種により異なる熱伸縮実演、ハイパー実演などを見学した。

最後は、会議室に戻って質疑応答の後、参加者を代表して、協会事務局の中村広局長がお礼のことばを述べて見学会を終了した。

研修を終えた一行は、午後3時半ごろに帰路につき、さいたま新都心に無事到着し、解散した。

表紙写真紀行

副会長　不破　隆夫

入間川の上流、名栗川は秩父境にある大持山（標高1294m）の南東斜面を源とする。

源流付近は大きな杉や檜に覆われた渓谷で、岩魚なども生息する。その渓谷沿いに一本の大きな梅が植えられている。その梅の花の可憐さに、大変風情を感じました。

労働災害防止へ決意
16年度安全大会を開催

当協会は昨年10月14日、さいたま市中央区下落合の埼玉県管工事会館大会議室で、2016年度安全大会を開催した。約50人の参加者は、埼玉労働局労働基準部健康安全課の布施武雄課長から『労働安全行政について』の訓示を受けるとともに、県環境部の担当者から『石綿除去と廃棄物処理について』をテーマにした講習を受けた後、安全大会宣言を行い、災害予防思想の普及を図り、作業環境を整備し、安全活動を協力に推進していくことを誓った。

大原会長があいさつ

大会は、企画経営委員会の三瓶孝宏幹事が司会進行を務め、横田生樹委員長の開会の言葉でスタートした。

主催者を代表してあいさつに立った大原会長は「一昨日、新座市にある東京電力の地下施設で火事があり、大規模な停電となりました。意外なところで、意外なことが起きるのが事故だと思います。われわれの身近なところでは、車両事故や現場での事故が危惧されます。注意一秒ケガ一生と言われていますが、皆さんも十分気をつけていただきたいと思います。いつも言っていることですが『いつまでもあると思うな親と金！無いと思うな事故と災難！』を肝に銘じ、安全を確保してほしい」と訴えた。

来賓あいさつでは、埼玉労働局の布施課長が「年末が近づき、慌ただしくなってくるこの時期に、安全大会を開催することは大変有意義なことだと思う」と述べた。

県都市整備部設備課の野中廣幸副課長は「労働災害防止活動も、KY活動からリスクマネジメントへと進化してきた。小さな安全対策の積み重ねが、大きな安全につながっていくと確信している。今後も積極的な災害防止活動により、災害ゼロを達成していただきたい」と述べた後、防災拠点活用塾（今年度7校で開催予定）への協力に感謝を述べ、引き続き協力を依頼した。

そして、埼玉労働局の布施課長が、昭和40年から平成27年までの50年間における全国の労働災害の推移を説明し、死亡災害が昭和40年と比べて6分の1となるとともに、平成27年には972人と初めて1000人を下回ったことを報告した。そして、県内の労働災害発生状況を報告してから、リスクアセスメントの浸透・定着が、労働災害減少の要因とし、安全衛生技能を継承していくように要請した。

この後、県環境部産業廃棄物指導課監視・指導・撤去担当の岩村響主査が『石綿除去と廃棄物処理について』をテーマに講演し▽石綿とはなにか▽解体時の注意▽廃棄物の処理――などについて説明した。そして、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物処理法、建設リサイクル法に基づく石綿除去と廃棄物処理について、事前手続きを中心に解説した。

この後、㈱新研設備工業の大原佑喜さんの先導により、安全大会宣言を全員で唱和し、最後に小林宏也副会長が閉会の辞を述べ、安全大会を終了した。

目　次

表紙写真＝名栗川渓谷に咲く可憐な梅の花
提供・不破副会長（不破設備工業㈱）

1　年頭のご挨拶
2　千葉積水工業の管工機材工場視察、安全大会、表紙写真紀行
3　衛生陶器工場等視察、浦和工業高校へ講師派遣、企業対策セミナー、サイバー犯罪対策講習
4　酉年生まれに聞く
5・6　支部だより、トピックス、新入会員紹介
7　賛助会員寄稿・新入賛助会員紹介、グルメリポート
8　賛助会員名簿
9・10　支部別会員名簿
最終面　盆栽シリーズ、編集後記

衛生陶器工場など 視察研修報告

㈱サイエイヤマト　堀込　稔

視察研修に参加したメンバー

昨年11月10日、11日に行われました「衛生陶器工場等視察研修」について報告申し上げます。

初日、名古屋駅からバスで常滑市に向かいました。名古屋周辺は窯業（セラミックス）産業の一大拠点となっていて、常滑市は日本六古窯の一つで焼物のまち、招き猫のふるさとと言われています。LIXIL（INAX）創業の地でもあります。

LIXILミュージアムは、土と水と火をテーマとした体験型施設であり、小・中学生はじめ多くの人々が訪れています。

日本の近代化に貢献した土管（陶管）とそれを焼いた窯や煙突を配置したテーマ館、世界のタイル博物館などがあり、設備工事に携わる者として、歴史に触れることができ、感慨深いものがありました。

次に、榎戸工場に移り衛生陶器の生産工程を見学いたしました。年産9万7000組と言われる生産ラインは品質管理が徹底していて、水をも漏らさない万全の体制が敷かれていました。

二日目は、長久手市にあるトヨタ博物館を訪問いたしました。

トヨタ博物館は、本館・新館合わせて世界のくるま160台を中心に自動車の誕生以来の歴史を展示。世界と日本の自動車産業の歩みを分かりやすく紹介していました。

終わりに、今回の研修視察にあたり終始和やかにお世話いただいた、株式会社LIXILの村上さん、濱田さんに深く感謝申し上げます。

エアコン取付を指導

浦和工業高校へ講師派遣

4班に分かれてエアコン設置実習

当協会は昨年10月25日、埼玉県立浦和工業高校において、十数年前から継続している『プロフェッショナルに学ぶ』の体験実習授業に講師を派遣し、設備システム科1年の生徒37人に、ルームエアコンの設置などを指導した。生徒は4班に分かれて、講師の指示を受けながら、エアコンの取り付けから試運転までの作業を学んだ。

当日は、協会本部から企画経営委員会の小林保之副委員長（㈱サイエイヤマト）と中村広事務局長が出席。講師は、㈱埼玉ヤマトの赤尾智取締役技術部長が務めた。

設備システム棟3階の実習室で行われた開校式では、科長の櫻井先生が「プロフェッショナルの仕事を教わる良い機会です。普段の講義で学べないことを前向きにしっかり学んでほしい」と述べた。

続いて、協会の小林副委員長が「皆さんの顔を見ると目が輝いており、希望にあふれている様子がうかがわれます。2年後には、進学や就職などの方向が決まると思いますが、学校でしっかり学んで、設備会社に入社していただき、将来、日本の設備業界を担ってほしい」とあいさつ。

この後、1階の実習室に移動し、4班に分かれた生徒が中心となり、講師の助言を受けながら取付準備、配管・配線、据付・接続、試運転まで漕ぎ着けることができた。

最後に生徒の代表者が講師に実習の感想とお礼のことばを述べ、講習会を終了した。

入契法の留意点確認

企業対策セミナー開催

両協会から約70人が参加

当協会と埼玉県電業協会の共催による2016年度（平成28年度）企業対策セミナーが昨年8月3日、さいたま新都市の男女共同参画推進センターで開かれた。参加者は約70人。県からは設計変更ガイドラインや工事成績評定などについて、国からは総合評価方式など入札契約制度を中心に話しが進められ、両協会員ともに法改正による制度上の留意点、受注者としての責務を改めて確認した。

埼電協の岡村一巳会長は「本日のセミナーは、両協会の担当委員のご努力や皆さま方のご協力により開催することができました。公共工事を行う上での注意点、国の入札契約制度などについて、説明していただきます」とあいさつした。

1部では県の県土整備部、都市整備部から3人の講師を迎え、テーマごとに説明を受けた。建設管理課の加藤幹雄主幹が『埼玉県建築・設備設計変更ガイドライン』、設備課の肥後俊哉主幹が『設備工事の検査のポイント』、建設管理課の佐野正明主幹が『建設業法の改正』について、それぞれ解説した。

引き続き2部では国土交通省関東地方整備局営繕部の中田修官庁施設管理官が『平成28年度総合評価落札方式の実施方針と取り組みについて』と題し、入札契約制度全般について講演した。

閉会にあたり当協会の飯沼章副会長が「話しが盛りだくさんで、ぜひとも持ち帰って再度確認したいと思います」と、発注者側にお礼を述べるとともに、協力をお願いし、セミナーを終了した。

サイバー犯罪へ対策

月例会に講師招き講演会

県警の担当者が講演

当協会は昨年10月14日、さいたま市中央区の埼玉県管工事会館3階大会議室で開催した今年度3回目の月例会において、県警察本部から講師を招き、『サイバー犯罪の現状と対策』をテーマとした講演を傾聴した。

開会にあたり大原会長は、ここ数カ月の動きとして「新聞に、シニア活躍推進宣言企業を増やし、雇用を促進しようという記事が掲載されていました。私たちも建設産業団体、教育機関、職業訓練施設、行政などの関係機関が一体となった『埼玉県建設産業担い手確保・育成ネットワーク』を組織し、若手の確保・育成や女性職員を増やしていく活動に取り組んでいます。年度末ごろには目標が定まる見通しです。また、県に要望している分離・分割発注の推進については、ご理解をいただき、実現している状況です」とあいさつした。

講演は、県警サイバー犯罪対策課捜査一係の森結可巡査が講師を務め、『インターネットセキュリティ～サイバー犯罪の被害に遭わないために～』を中心に▽サイバー犯罪とは▽DVDを見て学ぼう！▽サイバー犯罪に対する相談▽楽しくネットを使うために――について説明した。特に、不審なメールの開示や怪しいサイトには十分気をつけるように警鐘し、OSや、アプリケーション、ウイルス対策ソフトを最新のものに絶えず更新しておくように強調した。

酉年（生まれ）に聞く

㈱泉屋工務店
小林　宏也
昭和32年10月10日生

なんと還暦です。今年の「願い」も、一貫して自分と家族の健康です。

愛聴しているのは、50年近くになるＡＭラジオ。中学時代のオールナイトニッポンに始まり、永六輔さんの「土曜ワイドラジオＴＯＫＹＯ」、番組中の久米宏の隠しマイク作戦に聞き入りました。今はネットでも聞ける大竹まことゴールデンラジオ、安住アナの「日曜天国」＆久米宏の「ラジオなんですけど」、深夜＆午前中の伊集院光、荻上チキＳＥＳＳＩＯＮ22は、いずれも聞き応え充分です。

曰く、聞けば見えてくる・・。新聞・テレビでは伝えない情報を、マイナーなＡＭだからこそ発信しています。

写真は純真だったころの私です。

㈱ユニパック
村山　禎
昭和20年4月22日生

本年4月で72歳を迎える。随分と長いようでもあるし、アッと言う間のような気もする。終戦の直前に中国大陸で産まれ、戦後日本に引き揚げて、今日までつつがなく生きてこられたことは、ある意味で奇跡的でもある。

それにしても、この歳まで働いているのは、全くの想定外であり、ありがたい事である。畑違いの私に出来そうな仕事をつくって、特別顧問として使ってくれる会社に感謝あるのみである。

まだまだ心身ともに元気なので、少しでも会社や世間に貢献できる年にしたいと念じている。

㈱ヤマト埼玉支店
深見　正行
昭和44年4月2日生

新年あけましておめでとうございます。早いもので、今年で4回目の干支を迎えます。

ここまで過ごせたのも、仕事などで関係してきた皆さま方からのお力添えを頂いたお陰と感謝しております。

今年の抱負は、健康に気を付けて仕事やプライベートを充実させたいと思っています。

趣味はスポーツ観戦です。特に野球観戦は好きなチームを応援し、そのチームが勝つとかなりストレス発散になります。観戦試合は結構勝率も高いです。

健康法はなかなか出来ませんが、規則正しい生活を心掛けようと思います。

㈱清水アーネット
高橋　優也
昭和56年12月14日生

今年で、入社して4年目に突入しました。異業種からの転職という事もあり、初めは解らない事だらけでしたが、先輩方のご指導のおかげでようやく業界、仕事に慣れてきたように思えます。また、昨年度は2級管工事施工管理技士の資格を取得させて頂き、少しずつではありますがスキルアップも出来てきました。今年は、さらなるスキルアップを目指し、新たな資格の取得を目指したいと思います。

私生活では、4歳になる娘が生まれてから行けていない趣味であるスノボーへ、今年こそは家族で行きたいと思います。

埼玉設備工業㈱
古澤　聖也
平成5年2月10日生

今年の抱負は時間を有効に使い、積極的に資格取得にチャレンジしたいと思います。

趣味はサッカー観戦です。仲間とお酒を飲みながら大声を出して応援をして、ストレスを発散しています。

設備工事の仕事を始めてもう4年が経とうとしています。まだまだ分からない事や覚える事がたくさんありますが、とてもやりがいがある仕事だと思います。

支部だより

東部支部

「教　育」

正和工業㈱　横田　生樹

最近、子どもたちの持久走大会が近くなってきたので、早朝から子どもたちとランニングをしています。きっかけは、夕食を一緒に食べているときに、子どもたちが持久走大会で1位になりたいという想いを抱いてることを知ったことです。酒が入っていたこともあり、その想いを知った私は「よおーし、じゃあパパが毎朝一緒に走って鍛えてやる！」と意気込んでしまいました。

嬉しかったんですね、子どもたちがそんな想いを持っていてくれることが。だから、その想いをしっかりと結果に残して形にしてあげたいと思いました。そのために、自分も子どもたちと一緒に一生懸命頑張ろうと……。しかし、「言うは易く行うは難し」ですね。

私の習慣には、夜のお付き合いが沢山でした。夜中に酔っぱらって帰ってきて、早朝には起きてランニング。しびれまくりです。

そんな状況の中、私は四苦八苦していましたが、子どもたちは朝早く起こしても、泣き言一つ言わずに起きてきて、ランニング中も真剣そのものです。何よりも走っているときの目つきが真剣でした。そんな子どもたちを見て、また嬉しくなり自分も頑張らなければと、ケツを叩いて一緒にランニングをしています。

思い返してみれば自分自身、このように毎朝早く起きてランニングをするのは何年振りだったでしょうか。私も小学生の頃、父親に朝早く叩き起こされて走らされたのを覚えています。そのおかげで学校や地域では一番早く走れるようになり、父親からは走ることを通して、努力をすることの大切さを教えてもらったように思います。

そして、そんな父親を見習って、私も今、子どもたちに努力をする大切さを教えられるような父親になりたいと思っています。

走ることは、苦しく、辛く、大変です。走っている途中で息も上がり、手も足も上がらなくなり、途中で何回も力を抜いてしまいたくなります。しかし、それを乗り越えて走り続けないにはなりません。そこには常に自分との勝負があるんですね。

だから私は走っている最中に、子どもたちに何回も大きな声で怒鳴りながら走っています。「自分に負けるな！」と。

そして、私は子どもたちでなく、自分自身にも大きな声で怒鳴っています。「夜の誘惑に負けるな！」と……。

子どもたちを教育するために、自分を教育せざるを得ない今日この頃です。

さいたま支部

「自転車の祭典」

富士管工㈱　大澤　一郎

昨年11月に幕張メッセで行われたサイクルモードインターナショナル2016に行って来ました。10年以上前から行われているスポーツ自転車好きにはたまらないお祭りで、最新バイクやパーツの展示、いろいろなバイクの試乗に加え、さまざまなイベントが行われます（東京モーターショーの自転車版といったところでしょうか）。

会場で見た近年の自転車業界のトレンドは、電動アシストバイク、ロードバイクのディスクブレーキ化、バイクのシフトチェンジの電動化などが挙げられます。中でも僕が今回気になったのは、SENAというインカムメーカーが展示していたヘルメットです。特徴はヘルメット内にスピーカー、マイクが埋め込まれていて、前面にはカメラまで装備しています。仲間との会話やスマホとの連動で、GPSで離れた仲間同士の位置情報の交換など、これらが一般実用化されれば、使い勝手の便利さは、かなり高いと思われます。まだ試作品との事でしたが、いじった感じでは発売まであと少しだと思います。

最後に、ここ数年の自転車業界の発展は目覚ましく、特にスマホを経由して何かが出来る、というサイクリングの楽しみ方の幅が増えたと思われます。サイクリストとして、この先の技術進化が楽しみです。

100万円超えの高額バイクを散々見た後に、欲しい30万円のバイクが安いと思ってしまった自分が怖かったです（笑）。

新入会員紹介

県西冷熱工業㈱

代表取締役　鶴岡　治洋

当社は設立10年目を迎えたばかりの若い会社です。

現在は主に民間で空調冷媒工事をしている施工会社ですが、この空衛協会で多くを学ばせていただきたく加入させて頂きました。

私どもはこれからの10年の迎え方として、少しでも多く地場に密着還元できる企業に成長していこうと考えていますので、今後のご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

㈲本田工業

代表取締役社長　倉田　実樹

弊社は昭和37年に東京都世田谷区で創業いたしました。

その後、昭和45年に埼玉県春日部市に移転し、春日部市指定工事店の認可を得て、現在まで営業させていただいております。

主に住宅の衛生設備工事や春日部市発注の公共工事を手掛けております。

今回、空調衛生設備協会に入会させていただき、皆さまと共に成長したいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

トピックス

◎埼玉県優秀建設工事施工者表彰の設備部門で当協会会員1社が受賞

【特別奨励賞】

▽㈱新研設備工業＝15総合リハセンF棟自動制御設備ほか改修工事（設備課発注）

◎県土づくり優秀建設工事施工者表彰・優秀現場代理人等表彰に当協会会員の4社と5氏が受賞

課・所別の受賞者と対象工事は次のとおり。

【優秀建設工事施工者表彰】

＜設備課＞

▽埼玉設備工業㈱＝24県住熊谷玉井団地C号棟第2工区衛生設備工事

▽ハギワラ㈱＝24県住久喜青葉団地第1工区衛生設備工事

▽県南設備工業㈱＝14狭山緑陽高校防音校舎復温除工事

▽㈱ソーセツ＝15西南部地域特別支援学校（仮称）特教棟改修空調設備工事

【優秀現場代理人等表彰】

＜設備課＞

▽中川達則氏（㈱新研設備工業）＝15総合リハセンF棟自動制御設備ほか改修工事

▽阪田晃喜氏（埼玉設備工業㈱）＝24県住熊谷玉井団地C号棟第2工区衛生設備工事

▽柿沼宏育氏（ハギワラ㈱）＝24県住久喜青葉団地第1工区衛生設備工事

▽松井弘治氏（県南設備工業㈱）＝14狭山緑陽高校防音校舎復温除工事

▽吉川暢和氏（㈱ソーセツ）＝15西南部地域特別支援学校（仮称）特教棟改修空調設備工事

◎県関係部局へ要望書を提出

当協会は、埼玉県電業協会、埼玉県設備設計事務所協会の建築設備3団体合同で、『分離分割発注に関する要望書』を、岩﨑康夫副知事、県土整備部、都市整備部、同設備課、下水道局、病院局の幹部に提出しました。

岩﨑副知事（右から2人目）と3団体会長

北部支部

「七・五・三」

㈱堀田設備工業　谷島　康彦

私には、4人の孫がいます。先日2番目の孫（6歳の女の子）の七・五・三のお参りに行って来ました。母親が昔、自分が着ていた着物を着せ、なれないためか窮屈そうにしていました。草履も初めて履いたため、おぼつかない足取りで転びそうになることもありました。

でも、うっすらと化粧した顔と、頭に付けた飾りがかわいらしく、また嬉しそうにはしゃぐ姿がほほ笑ましく、とても楽しい気分になりました。

今はこうして孫のかわいい姿を見れますが、自分の時はどうだったのか気になり、家に帰ってから古いアルバムを探して見ると、一枚だけありました。千歳飴を持ち、こわばった表情で写る53年前の自分が。記憶には全くありませんが、どこかの神社で撮った写真でした。

当時の事を聞きたくても、すでに両親は亡くなり、話を聞く事はかないません。他にも幼い時に写した写真が何枚もありましたが、その時どんな思いで撮ってくれたのか、聞く事が出来ないのが残念です。

孫たちはこれからも、いろいろ楽しい場面を見せてくれると思いますが、良い思い出として将来記憶に残るよう、ジジ・ババは手伝い出来ればと二人で思いました。

西部支部

「交通手段」

㈱貫井産業　中村　浩之

私は日頃、車を利用することが多く、通勤に自転車を利用すれば健康面に、特にダイエットに良いと思っているが、なかなか実現できません。

都内に用事がある時は、車より電車を利用した方が、便利なことが多い。時間帯や路線にもよるだろうが、地元と比べると、本当に人が多く、閉口する事がある。

混雑時の改札でスイカやパスモのトラブルで、自動改札の扉が閉まってしまった人を見かけることがあるが、周りの冷たい視線の集中砲火を浴びせられていました。

毎日、ラッシュの中を通勤されている方々は、さぞご苦労されていることだろう。だが鉄道利用者の多さは万国共通ではないらしい。調べてみると、世界の駅別乗降客数ランキング上位50位のうち、23位までが日本の駅が独占している。

1位は新宿、2位は渋谷、3位は池袋と続き、24位にようやくフランスのパリが入ってくる。ちなみに大宮は17位だ。我々もよく利用するこの3駅が、世界でトップ3の乗降客数を誇っているとは驚きだ。

しかし、悪い事だけではない。日本の鉄道は、時刻の正確さが世界一である。利用客が多くなるのも必然なのかもしれない。

賛助会員寄稿

愛犬

大成設備㈱ 北関東支店 営業課 渡邊 崇

二年前に我が家の仲間になった愛犬。すっかり我が家の中心的存在である。休日に家族と行ったホームセンターで立ち寄ったペットショップで見かけ、一目惚れ。普段の買い物では、即決で買うことは殆どなく、娘からも「お父さん、また買わなかったんだね」と冷やかされるほど、いろいろと見てから決める性分である。また、子どもの頃から犬嫌いで、触ることすらできなかった自分が、その時すでに飼うことを決めていた。今思い返しても不思議な出会いだった。

仕事を終え、家に帰ると何時も尻尾を振って飛びついて出迎えてくれる。疲れ、ストレスから解放される瞬間である。

無駄に吠えることが無く、非常に飼いやすい犬である。場の雰囲気を敏感に察知し、娘が具合が悪い時には隣で見守るように静かに寄り添い、妻が本を読んだり、テレビを観ている時には妻の膝の上で寝ている。子供から学ぶこともあるが、動物からも教えられることが多々ある。

あと何年一緒に楽しく過ごせるか分からないが、私も愛犬のように、どのような状況でも変わることなく、お客様に寄り添い、信頼され、可愛いがられる存在の営業マンでありたい。

貯水機能付給水管

森松工業㈱ 北関東営業所 山田 信之

当社の貯水機能付給水管（球形タンク）をご紹介させていただきます。近年、ビルや集合住宅等の給水方式のひとつである「貯水槽方式」において、貯水槽の管理の不徹底に起因する水質劣化や衛生上の問題の発生により、水道事業体が「直圧（増圧）直結給水方式」を推奨するケースが増えています。

しかし、「直結給水方式」には貯水機能がないので、工事途中や災害時等に断水となった場合には、施設内で必要な水がすぐに使用できないという問題が生じています。2010年に「直結給水方式」のデメリットを改善するための熊本市教育委員会の発案に基づき、「ステンレス鋼製貯水機能付給水管」を開発し、2016年7月時点で熊本市内の避難所となりうる小中学校を中心に21基を納入しております。

2016年4月14日以降に発生した熊本地震では、21基の貯水機能付給水管すべてが被害を受けておらず、その耐震性が確認されております。

サッカーが非常に盛んな埼玉県には、五角形と六角形から成るサッカーボール形状の「ステンレス鋼製貯水機能付給水管」がマッチすると思うのですが、いかがでしょうか？

新入賛助会員紹介

日本管材センター㈱

第一統括部長 河合 正樹

皆さまのお陰を持ちまして、当社も管材を取り扱う専門商社として今年で50周年を迎えることができました。

昨年は、既存の配送センターの隣に新しく「新木場配送センターDepot」（江東区新木場）を開設いたしました。

これからもお客さまのご要望にしっかり応えられるよう、業務に邁進してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

グルメリポート(17)

㈱ヤマト埼玉支店 金井 大

今年度から埼玉支店に転勤になり、新座駅から武蔵野線に乗り南浦和で乗り換え、京浜東北線等を利用して土呂駅で下車し、駅から歩いて通勤しています。それまでは20年程上野に通勤していました。

友人らと一杯やるのに、帰りの事も考えて南浦和でいい店がないかと見つけたのが「笑わ屋（しょうわや）」です。

店内は昭和の映画のポスターが貼ってありレトロな感じです。子供のころの懐かしい思い出がよみがえります。BGMも青春時代のアイドルの歌などが流れ、いつまでも居たい場所です。先日もBGMで菊池桃子の曲が流れていて、学生時代に部屋にポスターを貼っていたと話が盛り上がりました。

昭和のレトロな雰囲気

お薦めはレバテキ

南浦和「笑わ屋」

この店はなんと言ってもレバテキ（レバを炭火で炙ったステーキ）がおいしく、胡麻塩ダレと甘ダレがありますが毎回胡麻塩ダレを頼んでいます。炙り加減も最高です。串焼きもおいしく、かしらやたん、はらみ等にたっぷり秘伝辛味噌だれをつけて食べるのも格別です。飲み物は、基本的にはビールからホッピーかハイボールへと進みますが、時には獺祭（だっさい）などの日本酒を飲むこともあります。

店はカウンター席が10席位にテーブル席が8席位で、広過ぎず隠れ家的なお店です。リーズナブルでサラリーマンの財布にもやさしいです。

今度行ったらお店の名前の由来を聞いてみようと思います。

TEL：048－877－0779　住所：さいたま市南区南浦和2－27－10　営業時間：17：30～23：00　定休日：日曜日・祭日の月曜日

謹　賀　新　年

第１種賛助会員

㈱朝日工業社　北関東支店 〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-11-9 TEL048-643-2911　FAX048-643-2979	三建設備工業㈱　北関東支店 〒330-0845 さいたま市大宮区仲町3-13-1 TEL048-650-5400　FAX048-649-6400	新菱冷熱工業㈱　関東支店 〒330-0802 さいたま市大宮区宮町1-38-1 TEL048-643-2222　FAX048-643-2263
高砂熱学工業㈱　関信越支店 埼玉営業所 〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-16 TEL048-650-1202　FAX048-643-0882	ダイダン㈱　関東支店 〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-2 TEL048-644-8468　FAX048-645-8384	大成設備㈱　北関東支店 〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮5-30-15 TEL048-687-3281　FAX048-687-3431
東洋熱工業㈱　北関東営業所 〒330-0846 さいたま市大宮区大門町3-22-3 TEL048-646-0604　FAX048-644-8088	大成温調㈱　関東支店 〒331-0812 さいたま市北区宮原町2-34-3 TEL048-669-3811　FAX048-669-3812	㈱テクノ菱和　北関東支店 〒330-0802 さいたま市大宮区宮町3-9-7 TEL048-640-5775　FAX048-643-0211
第一工業㈱　北関東営業所 〒331-0812 さいたま市北区宮原町3-58 TEL048-661-8211　FAX048-661-8222	三機工業㈱　関東支店 〒330-0802 さいたま市大宮区宮町3-13-2 TEL048-644-3425　FAX048-649-1966	

第２種賛助会員

㈱ＬＩＸＩＬ　東埼玉支店 〒336-0911 さいたま市緑区三室1158-3 TEL048-875-6032　FAX048-875-6042	紘永ＣＭＣ㈱ 〒360-0843 熊谷市三ヶ尻3047 TEL048-532-3969　FAX048-532-1461	積水化学工業㈱ 〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-333-13 TEL048-646-0160　FAX048-644-9316
ダイヤケミカル㈱ 〒323-0029 栃木県小山市城北2-1-3 TEL0285-25-2785　FAX0285-25-3502	TOTO㈱　北関東支社 〒337-0042 さいたま市見沼区南中野672-1 TEL0570-088701　FAX048-680-1200	㈱エヌ・ワイ・ケイ 〒349-0131 蓮田市根金1689-1 TEL048-766-1211　FAX048-767-1021
深川機械販売㈱ 〒332-8555 川口市西青木2-9-5 TEL048-257-3111　FAX048-256-6629	ダイキンＨＶＡＣソリューション東京㈱ 〒330-0852 さいたま市大宮区大成町3-276-1 TEL048-661-3520　FAX048-661-2625	内藤環境管理㈱ 〒336-0015 さいたま市南区太田窪2051-2 TEL048-887-2590　FAX048-886-2817
テラル㈱　北関東支店 大宮営業所 〒337-0053 さいたま市見沼区大和田町2-1018-2 TEL048-681-7822　FAX048-681-7082	森松工業㈱　北関東営業所 〒335-0022 戸田市上戸田1-17-19 TEL048-447-8068　FAX048-447-8098	三菱電機冷熱機器販売㈱　北関東支店 〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-11-3 TEL048-657-3022　FAX048-657-3023
㈱川本製作所　北関東支店 〒330-0801 さいたま市大宮区土手町1-63-1 TEL048-650-5871　FAX048-650-5861	ユアサ商事㈱ 〒331-0812 さいたま市北区宮原町4-7-5 TEL048-652-1481　FAX048-651-8110	㈱中西製作所　北関東支店 〒331-0811 さいたま市北区吉野町2-177-1 TEL048-667-1081　FAX048-663-4046
㈱荏原製作所　北関東支社 〒331-0822 さいたま市北区奈良町14-3 TEL048-666-3338　FAX048-652-0865	㈱リッショー 〒340-0011 草加市栄町3-4-3 TEL048-933-2555　FAX048-933-2556	㈱セオス　さいたま支店 〒337-0024 さいたま市見沼区片柳1-116 TEL048-685-0904　FAX048-685-0551
岡部バルブ工業㈱　川越営業所 〒350-0837 川越市石田1-1 TEL049-224-4111　FAX049-224-4040	大水産業㈱　本社・浦和工場 〒339-0025 さいたま市岩槻区釣上新田３１８ TEL048-791-2887　FAX048-791-2870	日本管材センター㈱ 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-24-3 TEL03-5541-5111　FAX03-5541-5707

謹賀新年

ハギワラ株式会社 〒339-0057 さいたま市岩槻区本町1-15-7 電話 048(749)8211㈹ FAX 048(756)1070	**三水冷熱株式会社** 〒338-0832 さいたま市桜区西堀10-12-29 電話 048(853)7151㈹ FAX 048(852)9653	**さいたま支部**
株式会社アステック 〒338-0835 さいたま市桜区道場字拾石田709-1 電話 048(857)5757㈹ FAX 048(857)5700	**積田冷熱工事株式会社** 〒330-0073 さいたま市浦和区元町2-18-13 電話 048(886)8311㈹ FAX 048(886)8169	**株式会社ヤマト埼玉支店** 〒331-0813 さいたま市北区植竹町1-725 電話 048(664)3882㈹ FAX 048(664)4567
ミヤザワ工業株式会社 〒365-0023 鴻巣市笠原1688-1 電話 048(542)6417㈹ FAX 048(542)5218	**大宮管工株式会社** 〒331-0822 さいたま市北区奈良町154 電話 048(663)2154㈹ FAX 048(652)7833	**株式会社飯沼工務店** 〒331-0812 さいたま市北区宮原町4-67-1 電話 048(663)3465㈹ FAX 048(666)1080
株式会社シンエイ 〒331-0802 さいたま市北区本郷町260 電話 048(666)3366㈹ FAX 048(667)6229	**株式会社新研設備工業** 〒338-0832 さいたま市桜区西堀8-12-15 電話 048(856)2911㈹ FAX 048(851)5155	**株式会社泉屋工務店** 〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋3-4-10 電話 048(864)1171㈹ FAX 048(866)4825
株式会社埼玉ヤマト 〒331-0813 さいたま市北区植竹町1-725 電話 048(664)3884㈹ FAX 048(664)3907	**株式会社サイエイヤマト** 〒339-0082 さいたま市岩槻区西原台1-1-10 電話 048(758)1308㈹ FAX 048(756)5889	**株式会社大クマ工業** 〒338-0013 さいたま市中央区鈴谷9-13-8 電話 048(852)6862㈹ FAX 048(852)2921
タカセ工業株式会社 〒336-0918 さいたま市緑区松木2-32-4 電話 048(873)9910㈹ FAX 048(874)1968	**富士管工株式会社** 〒330-0843 さいたま市大宮区吉敷町4-11-1 電話 048(641)2385㈹ FAX 048(644)6843	**県南設備工業株式会社** 〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮2-31-2 電話 048(663)5941㈹ FAX 048(651)0264
株式会社金子設備 〒362-0062 上尾市泉台1-10-11 電話 048(773)6057㈹ FAX 048(774)6257	**株式会社細田管工** 〒353-0003 志木市下宗岡3-4-9 電話 048(473)7232㈹ FAX 048(475)2075	**株式会社深井設備工事** 〒330-0851 さいたま市大宮区櫛引町1-823 電話 048(664)3297㈹ FAX 048(664)3250
長沼設備工業株式会社 〒367-0047 本庄市前原2-3-18 電話 0495(24)2434㈹ FAX 0495(21)5157	**株式会社オキナヤ** 〒360-0114 熊谷市江南中央2-17-1 電話 048(539)3333㈹ FAX 048(539)3344	**北部支部**
セイフル株式会社 〒366-0801 深谷市上野台2423-6 電話 048(572)2442㈹ FAX 048(572)6840	**株式会社並木設備工業** 〒360-0853 熊谷市玉井1823 電話 048(532)6339㈹ FAX 048(533)1091	**株式会社清水アーネット** 〒360-8521 熊谷市問屋町4-3-2 電話 048(525)0123㈹ FAX 048(526)6524
	株式会社ソーセツ 〒360-0833 熊谷市広瀬416-1 電話 048(524)5821㈹ FAX 048(525)4863	**株式会社堀田設備工業** 〒355-0028 東松山市箭弓町1-9-8 電話 0493(24)1151㈹ FAX 0493(24)1107

謹賀新年

株式会社ユニパック
〒332－0021
川口市西川口2－7－1
電話 048(258)6991㈹
FAX 048(258)6992

株式会社今泉水道
〒340－0024
草加市谷塚上町483－3
電話 048(927)1010㈹
FAX 048(922)1316

東部支部

有限会社梅沢水道
〒333－0842
川口市前川3－17－9
電話 048(265)7739㈹
FAX 048(269)0176

株式会社杉本設備
〒347－0017
加須市南篠崎1066－6
電話 0480(65)0581㈹
FAX 0480(65)5483

株式会社協和設備
〒343－0035
越谷市大道478
電話 048(973)6000㈹
FAX 048(973)6001

県西冷熱工業株式会社
〒341－0034
三郷市新和4－463
電話 048(954)2553㈹
FAX 048(954)2554

竹内セントラル株式会社
〒340－0036
草加市苗塚町438－16
電話 048(928)5525㈹
FAX 048(928)5575

正和工業株式会社
〒344－0014
春日部市豊野町2－32－19
電話 048(736)6111㈹
FAX 048(734)9890

有限会社本田工業
〒344－0035
春日部市谷原新田1404
電話 048(736)2929㈹
FAX 048(737)4381

株式会社ナカノヤ
〒343－0025
越谷市大沢3－28－11
電話 048(974)8711㈹
FAX 048(976)1252

株式会社浅倉水道
〒332－0022
川口市仲町18－5
電話 048(252)6820㈹
FAX 048(252)6825

株式会社協同エンジニアリング
〒350－1333
狭山市上奥富新堀97
電話 04(2954)6321㈹
FAX 04(2952)7295

昭和工業株式会社
〒350－0824
川越市石原町2－58－16
電話 049(224)6149㈹
FAX 049(224)6664

西部支部

株式会社渋谷設備工業
〒350－1327
狭山市笹井1－5－8
電話 04(2952)4964㈹
FAX 04(2952)1201

入間空調株式会社
〒358－0026
入間市大字小谷田644－1
電話 04(2963)0261㈹
FAX 04(2963)8928

埼玉設備工業株式会社
〒350－1131
川越市岸町1－15－16
電話 049(241)4343㈹
FAX 049(241)1111

株式会社糟谷設備工業所
〒359－1145
所沢市大字山口2825－1
電話 04(2923)8888㈹
FAX 04(2923)8869

株式会社北田設備工業
〒357－0021
飯能市大字双柳5－1
電話 042(973)3241㈹
FAX 042(974)2699

不破設備工業株式会社
〒358－0053
入間市仏子1202－4
電話 04(2932)0731㈹
FAX 04(2932)5515

株式会社貫井産業
〒359－0025
所沢市大字上安松909
電話 04(2993)0110㈹
FAX 04(2998)2273

日開設備工業株式会社
〒350－0021
川越市大字大中居390－1
電話 049(235)8611㈹
FAX 049(235)8610

盆栽シリーズ「世界盆栽大会について」

一般社団法人日本盆栽協会　理事　大澤　規郎（富士管工㈱）

2017年4月27日より4日間、世界盆栽大会が盆栽のメッカ大宮で開催されます。60カ国のお客さまを含め、多くの人たちが大宮に来られます。

大宮で開催されるのは今年で2回目です。大宮の文化・盆栽が世界に発信されます。多くの子どもたちにも参加してもらい、教育上も大変有意義な大会になり、育てる事の喜びや自然環境の大切さなど、盆栽を通して学んでいただけると思います。

期間中は日本を代表とする盆栽を数多く見学することができます。時間を作って、ちょっと立ち寄ってください。必ずや何かが心の隅に残ると思います。

【エゾマツ（蝦夷松）　鉢－古渡紫泥長方　樹齢－約450年】

会報「風と水と」第65号

平成29年1月発行

発行所　一般社団法人　埼玉県空調衛生設備協会
発行人　大原　萬彌
編集　広報委員会
事務局　〒338－0002
さいたま市中央区下落合4－8－10
TEL 048(855)4111
FAX 048(853)0676
ホームページ　http://saikuei.com/

＜編集後記＞

広報委員会幹事　佐々木　忍

新年明けましておめでとうございます。「平成29年新春号」発行にあたりまして、ご寄稿していただきました皆さまに、厚くお礼申し上げます。

広報委員になって丸3年経ちますが、依頼した原稿の遅延もなく、毎回興味を引く話題を提供してくださる皆さまには感心しております。

さて、景気の不透明さが続く中、今年の干支は「酉」で、それにかけて「とりこむ」商売繁盛の干支と言われているそうです。協会員の皆さん、今年も頑張りましょう。